

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	南流山センター施設整備改修事業			会計	款	項目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	南流山センター利用者	意図	安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	南流山センター利用者が快適に利用できるよう施設の維持管理のために修繕を行う。（タイル面改修工事）			
事業開始から現在までの状況変化	昭和56年に開館以来、定期的な整備を実施しているが老朽化に伴い臨時的な補修が増加している。平成22年に耐震診断を実施し、耐震補強の必要性はないものの一部の外壁に亀裂が発見されたため、外壁亀裂及び窓枠修繕を行った。平成26年度は消防設備改修を行い、平成27年度は外壁改修工事を行った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	施設の稼働率	57.70			
②	施設利用件数の増減率	4.40	-1.10	-0.40	%	↑↑↑	当該年度／前年度－1
③	施設利用人数の増減率	3.10	6.10	-7.60	%	↑↑↑	当該年度／前年度－1
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 安心して快適に利用できるようにするため、平成27年度は外壁改修工事を行った。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総計(a=b+c)		1,701,264	4,459,700	3,189,720			
事業費(b)(円)		303,864	2,041,200	1,683,720			
うち一般財源		303,864	2,041,200	1,683,720			
職員給与費(c)(円)		1,397,400	2,418,500	1,506,000			
人役・職員(人)		0.20	0.35	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	施設の老朽化に対応するため、緊急性の高いものから優先して修繕を行う。	③取組の課題	指定管理者と連絡を密にし、情報を共有し、施設の老朽化に対応するため、緊急性の高いものから優先して修繕を行っていく必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	平成27年度は外壁改修工事を行い、利用者に安心・安全な環境を提供した。	④今後の改善計画	実施計画に沿って、建物及び設備の保全を進めていくと同時に特殊建築物定期調査報告の指摘事項を精査するなど、改善計画を作成し適切に施設整備事業を進めていく。